

平成21年度 事業実施概要

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標Ⅰ 地域福祉の理解を広げよう

「北九州市地域福祉活動計画第三次計画 後期実施計画」等の普及を行うことにより、地域福祉活動の市民への浸透を目指しました。

年長者研修大学校「周望学舎」開設30周年、「権利擁護・市民後見センター」開設及び「地域福祉権利擁護事業」開始10周年記念事業、「生涯現役夢追塾」事業に取り組むことで、市民が安心して、生涯現役のまちづくり活動が活性化できるよう気運の醸成に努めました。

また、マスメディアの積極的な活用、ホームページ掲載情報の整備と充実を行うことで、幅広い市民の関心の喚起を行いました。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙の充実と役割分担

- ・ 「市社協だより」・「ひと&ひと」の発行
(年4回、160,000部) <振興課・研修課>
- ・ 「ウェル新聞」の発行(年12回) <施設部>
- ・ マスメディア等の積極的活用
(テレビ99回、ラジオ4回、他新聞・団体機関紙等14回) <全部署>
- ・ 「ボランティア・市民活動センターだより」の発行(3,000部)
<活動推進課>
- ・ 「北九州ボランティア・市民活動ガイドブック」の発行(800部)
(従来の活動ガイドを、より市民に親しまれやすい意匠に変更して発行)
<活動推進課>
- ・ 研修パンフレットの発行(年1回、2,500部) <研修課>
- ・ 広報紙「周望」・「穴生学舎」とかわら版、啓発用冊子「学舎案内」と要約版
の発行(発行回数15回、延べ発行部数14,800部) <周望・穴生>

(2) 出前講演活動等の効果的推進

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施
* 地域福祉課 (47回、参加者数3,688人)

* 権利擁護・市民後見センター（26回、参加者数 1,127人）

＜地域福祉課・権利擁護・市民後見センター＞

重 ・ 北九州市地域福祉活動計画第三次計画後期実施計画の周知 ＜地域福祉課＞
(52回、参加者数 3,955人)

- ・ 年長者研修大学校及び高齢者ボランティアの市民啓発 ＜周望・穴生＞
- ・ ニュースポーツの出前講演（44回） ＜穴生＞

(3) ホームページ掲載情報の整理と充実

- ・ ホームページでの情報提供（アクセス数 76,811回） ＜総務課＞
- 新** ・ らいとホームページの開設（更新：14回） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ ボランティア活動や研修に関する情報提供 ＜研修課＞
(アクセス件数：6,530件)
- ・ 年長者研修大学校ホームページの活用による福祉関連情報の収集・発信
(アクセス件数：周望 8,421件、穴生 43,993件) ＜周望・穴生＞

(4) 市民参加型啓発事業の推進

- ・ 市民ふれあいフェスティバルの開催（10月4日、5,688人） ＜活動推進課＞
- ・ 年長者研修大学校オープンカレッジ・コースの開催 ＜周望・穴生＞
(体験入学、一日体験講座の開講6回、延べ124人)
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施（年間32コース） ＜周望・穴生＞
- 新** ・ 年長者研修大学校周望学舎「開設30周年記念事業」の実施 ＜周望＞

(5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み

- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み ＜地域福祉課＞
(社協オリジナルTシャツ 768枚・エプロン 137枚の販売)
- ・ 認知症サポーターキャラバン事業の実施 ＜地域福祉課＞
(認知症サポーター養成講座 172回・キャラバンメイト養成講座 1回、
サポーター登録 4,523人・登録累計 19,581人)
- 重** ・ サポーターフォローアップ事業の実施 ＜地域福祉課＞
(認知症サポーターキャラバン情報紙 3回、20,000部)
- ・ 委託事業を通じた広報啓発の企画・実施 ＜生活福祉課＞
(355回、11,399人)
- 新** ・ 「権利擁護・市民後見センター」開所記念及び「地域福祉権利擁護事業」
開始10周年記念事業の実施（参加者 77人） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- 新** ・ 「区社協ボランティア・市民活動センター」へ名称統一 ＜活動推進課＞
- ・ 市民講演会の実施（1回、1日、42人） ＜研修課＞
- ・ 市民講座の実施（3回、9日、60人） ＜研修課＞
- ・ 年長者研修大学校・穴生ドームの公開講座や作品展、学舎行事等への市民参加による啓発活動の実施（231回、12,066人、7,001人） ＜周望・穴生＞

新 ・ 年長者研修大学校周望学舎「開設 30 周年記念事業」の実施（再掲）

＜周望＞

- ・ 高齢者の資格・健康・娯楽の情報発信・相談コーナー
（健康に関する授業 32 コース 延べ 2,277 人） ＜周望・穴生＞
（図書室・娯楽コーナー利用人数 4,214 人） ＜穴生＞
- ・ 研修生募集にかかる有料広告の採用 ＜周望・穴生＞
（新聞チラシ 120,000 部発行）

2 福祉教育の推進

（1）体験型福祉教育の推進

- ・ 学校、社会福祉施設、企業等と連携した次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施（28 校(地)区、児童 535 人） ＜地域福祉課＞
- ・ ウェルクラブ活動による体験型福祉教育の一層の普及
（20 校(地)区、児童 354 人） ＜地域福祉課＞
- ・ 中高生・親子ボランティア体験の実施 ＜活動推進課＞
（2 コース、参加者数 1,362 人）
- ・ 年長者研修大学校全研修生に対する福祉授業の実施 ＜周望・穴生＞
（140 回、3,416 人）
- ・ 異世代に対する伝承活動、世代間ふれあい交流授業の実施 ＜周望・穴生＞
（年長者と孫のつどい等 37 回、1,160 人）

（2）社会福祉協力校指定事業の充実

- ・ 社会福祉協力校事業の指定 ＜活動推進課＞
（指定校総数 45 校：21 年度新規指定 小学校 7 校、中学校 3 校）
- ・ 福祉教育セミナーの実施（1 回、1 日間、39 人） ＜活動推進課＞

（3）各機関が実施する福祉教育の調整

- ・ 社会福祉士資格取得予定者の「社会福祉援助技術現場実習」の受入
（12 日間、受入人数計 13 人） ＜総務課＞

3 地域福祉人材の育成

（1）社会福祉ボランティア大学校、年長者研修大学校などをはじめとする社会福祉協議会が持つ研修機能の充実

- ① 社会福祉ボランティア大学校の研修機能の充実 ＜研修課＞
 - ・ 市民講演会の実施（再掲）
 - ・ 市民講座の実施（再掲）

- ・ ボランティア活動者スキルアップ研修の実施（3回、4日、60人）
- ・ 地域活動支援者研修の実施（1回、2日、25人）
- ・ 地域活動者研修の実施（19回、46日、1,385人）
- ・ 福祉有償運送運転協力者研修の実施（4回、8日、111人）
- ・ その他研修の実施（共催／企画支援）（37回、37日、117人）
- ・ 研修効果の測定（2回、47人）
- ・ 研修、講座のバリアフリー化（託児実施、1回、1人）
- ・ 地域やボランティア活動団体への研修企画の支援
（ビデオの貸し出し 38回 81本、研修講座に関する相談受付件数 23件）

② 年長者研修大学校修了生等の地域活動・ボランティア活動への参加意欲増進

- 新** ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（4回）
年長者研修大学校「周望学舎・穴生学舎」の実態把握及び運営・改善について審議。 ＜周望・穴生＞

- 新** ・ 地域活動リーダーの養成等を目指す専門コースの実施
各学舎3コース 153人修了 ＜周望・穴生＞

- 新** ・ 地域活動情報支援センターの設置 ＜穴生＞
 穴生学舎内に「セカンドライフ支援課」を設置し、専任職員を配置
 研修生、修了生等のボランティア活動の支援、需給調整等を図った。

- ・ 社会福祉施設等におけるボランティア活動体験や学舎内及び地域との需給調整(456回)、研修（3回）、講師活用（3人、8回） ＜周望＞

- ・ パソコンボランティアの育成及び支援（9人、80回）、瓦版編集（6回、延べ259人、研修3回） ＜周望＞

- ・ 研修生・ボランティアグループや研究クラブと地域との需給調整(118件) ＜穴生学舎＞

- ・ 全研修生によるボランティア活動の研修・実践 ＜周望・穴生＞
 (89回、2,946人)

- ・ 健康・体力づくり指導者の養成 ＜穴生＞
 体力づくり指導者研修及び健康ボランティアの養成（2回、13日、292人）

③ 研修参加者の実践支援

- ・ 民間社会福祉事業従事者の資質向上を目指した研修会の実施
 （メンタルヘルス研修：1回、111人） ＜振興課・福祉人材バンク＞

- 新** ・ 50歳以上の世代の社会地域貢献等の夢追塾事業の実施
第4期生39名（男性25人、女性14人） ＜穴生＞

(2) 地域福祉活動、ボランティア活動分野の講師等の開拓・育成

- ・ 企業の社会貢献活動の啓発、活動周知の機会の提供 ＜活動推進課＞
 （市民ふれあいフェスティバルにおいて「企業の地域貢献」に関するシンポジウム開催、244名参加）

- ・ 地域活動者との交流授業の実施（3回、32人） ＜周望＞
- ・ 子育て支援ボランティア講師等養成講座の開催 ＜周望＞
（3回、36人 延べ113人）
- ・ 高齢者の健康体力づくり指導者研修等 年2回募集 ＜周望・穴生＞
ニュースポーツ指導者講習1回（10日）延べ203人
健康ボランティア養成研修1回（3日）延べ88人

基本目標Ⅱ 住民による身近な地域づくりを進めよう

多様化する地域の課題に対応していくため、北九州市が取り組む「いのちをつなぐネットワーク事業」と「ふれあいネットワーク事業」の連携を進めていくとともに、「マンション孤立死防止対策の実践研究」、「障害のある人を地域で支える活動」等、新しい絆づくりに取り組み、国庫補助事業を活用した充実強化をモデル的に開始しました。

ボランティア・市民活動の支援では、昨年夏の水害を教訓として、災害ボランティアセンター設置を想定した仕組みづくりを行い、市消防局との積極的な支援体制づくりを図っています。

また、区社協ボランティア・市民活動センターの名称を統一することにより、広範な市民の活動の支援を目指しています。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) 校(地)区社協活動の支援

- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施（再掲）
＜地域福祉課＞
 - ・ 校(地)区社協とボランティア・NPO団体との連携促進
（体験型福祉教育等での連携）
＜地域福祉課＞
 - ・ 健康と福祉のまちづくり事業の普及・実施
（出前講演1回、50人）
＜地域福祉課＞
 - ・ 校(地)区社協活動先進事例集の発行（10,000部）
＜地域福祉課＞
 - 新** ・ マンション孤立死防止等集合住宅対策の実践研究
（シンポジウム1回、参加者282人）
＜地域福祉課＞
 - 新** ・ 障害のある人を地域で支える活動
（障害者当事者団体の地域行事への参画支援 南沢見まつり1回、11人）
＜地域福祉課＞
 - 新** ・ 新しい絆づくりの検討
（地域福祉活動専門研修での校区単位の計画づくり 1回、78人）
＜地域福祉課＞
 - ・ 区域における校(地)区社協会長会議開催の支援
（区社協で定例化）
＜地域福祉課＞
 - ・ 他都市活動者の視察受入による交流会の実施
（2回、視察者35人）
＜地域福祉課＞
 - ・ 地域活動者研修の実施（再掲）
＜研修課＞
- (2) ふれあいネットワーク事業（共通事業、協働事業）の充実
- 重** ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催（3回、参加者132人）
＜地域福祉課＞

新 ・ 「いのちをつなぐネットワーク」との連携促進（国庫補助事業を活用したふれあいネットワーク事業の充実強化における連携促進） <地域福祉課>

- ・ 活動の実績に応じた活動費の助成
（共通事業 154 地区、協働事業 85 地区） <地域福祉課>
- ・ 協働事業における政策的・重点的助成の推進
（協働事業選定会 2 回、85 地区選定） <地域福祉課>
- ・ 区域における校（地）区社協ふれあいネットワーク担当者会議開催の支援
（区社協で定例化） <地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者における民生委員やふれあいネットワーク等、地域住民を含めた支援ネットワークの充実 <権利擁護・市民後見科>
（校（地）区社協等への出前講演 13 回：参加人数 699 人）（再掲）

（3）年長者研修大学校等修了者等の小地域福祉活動への結びつきの促進

- ・ 「ふれあいいきいきサロン」の実施（21 回 1,720 人） <穴生>
- ・ 高齢者による子育て活動への支援
ボランティアグループ・研修生による近隣の幼稚園や小学生児童と昔遊び、レクレーションを通じて交流を実施（15 回 1,720 人） <穴生>
（子育て支援活動 25 回 545 人、伝承活動 52 回 189 人、友愛活動
延べ 54 回 877 人 計 131 回 1,611 人） <周望>
- ・ ニュースポーツ出前講演、健康ボランティアによる活動支援 <周望・穴生>
（健康ボランティア 73 回 579 人、出前講演 44 回 899 人、計 81 回
1,478 人）

（4）子育て支援の充実

- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施（再掲） <地域福祉課>
- ・ 児童いきいきサロン応援団モデル事業の推進（2 施設にて取組開始） <活動推進課>

2 ボランティア・市民活動の支援

（1）市・区社協ボランティア・市民活動センター機能の充実

① 市内のボランティア等支援機関との連携

- ・ ボランティア・NPO 団体との連携・活動支援
北九州市民サミット実行委員会への参加（6 回） <活動推進課>
- ・ ボランティア活動保険助成（加入者数 23,200 人、2,734 千円） <活動推進課>
- ・ ボランティア活動者育成のための各種ボランティア講座の開の実施（再掲） <研修課>

- ・ 区社協ボランティア・市民活動センターと地域活動情報支援センター等との連携（再掲） ＜周望・穴生＞
 - 新 ・ 地域活動情報支援センターの設置（再掲） ＜穴生＞
 穴生学舎内に「セカンドライフ支援課」を設置し、専任職員を配置し、研修生、修了生等のボランティア活動の支援、需給調整等を図った。
 - ・ 社会福祉施設等におけるボランティア活動体験や学舎内、及び地域との需給調整(456回)、研修（3回）、講師活用（3人、8回） ＜周望＞
 - ・ パソコンボランティアの育成及び支援（9人延べ259人）、瓦版入力（編集6回、研修3回） ＜周望＞
 - ・ 研修生・ボランティアグループや研究クラブと地域との需給調整（118件） ＜穴生＞
- ② 区社協ボランティア・市民活動センターと市民センターの関係づくり
- ・ 地域支援ボランティア研修の実施（7回、24日、294人） ＜研修課＞
- ③ ボランティアネットワークの構築
- ・ 市・区ボランティア連絡組織の結成促進 ＜活動推進課＞
 （各区ボランティア連絡協議会への資金助成情報提供や結成促進など）
- (2) 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用
- ・ 自主財源確保のため短期自主講座の開催
 年長者研修大学校 年 延べ31講座 ＜周望・穴生＞
 穴生ドーム 年 9講座・大会 ＜穴生＞
- (3) サービス提供等を通じた活動機会の確保、提供
- ・ 福祉医療機構助成事業への協力 ＜振興課＞
 - ・ 各種基金助成金の紹介・申請協力 ＜振興課＞
 - ・ シルバーひまわりサービス事業の実施 ＜活動推進課＞
 （ボランティア登録数1,002人、利用者登録数686人、利用件数3,649件）
 - ・ 腕自慢おまかせサービス事業の実施 ＜活動推進課＞
 （ボランティア登録数214人、実施件数96件）
 - ・ 福祉有償運送運転協力者研修の実施（再掲） ＜研修課＞
 - ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用増 ＜周望・穴生＞
 （9人→12人）
 - ・ 年長者研修大学校の地域開放事業の実施 ＜周望・穴生＞
 会議室、図書室、ホール等の施設や印刷機、パソコン等の設備を開放し、夢追塾卒塾生の地域活動を支援
 - ・ 夢追塾ナビゲーター補への登用（9人） ＜周望・穴生＞

3 役割分担と協働の促進

- (1) 校(地)区社協活動とボランティア・NPO団体との連携・協働の仕組みづくり
- ・ ボランティア・NPO団体との連携促進 (再掲) <地域福祉課>
- (2) 校(地)区社協活動と学校との連携強化
- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業 (ウェルクラブ活動) の実施 (再掲)
<地域福祉課>
- (3) 校(地)区社協とまちづくり協議会の役割分担の明確化
- ・ ふれあいネットワーク事業充実強化の取り組みにおける役割分担の明確化
<地域福祉課>

4 災害時福祉救援活動の体制づくり

- (1) 小地域単位の福祉救援体制づくり
- ・ 民生委員児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <振興課>
 - 重** ・ 校(地)区社協を中心とした福祉救援体制づくり事業の実施 (モデル校区5地区、ワークショップ等16回、研修事業における事業啓発2回)
<地域福祉課・活動推進課>
 - ・ 福祉救援体制づくりに関する研修 (校(地)区社協交流会) の実施
(1回、1日、49人) <研修課>
 - ・ 校(地)区社協を中心とした福祉救援体制づくりモデル地区支援の拡大
(3回、3日、50人) <研修課>
 - ・ 年長者研修大学校全研修生に対する防災意識の高揚と救急救命講習、教室の実施 (15回、403人) <周望、穴生>
 - ・ 災害時の災害ボランティアとの連携と支援体制の整備 <穴生>
 - ・ 宿泊機能を生かした緊急避難場所としての体制整備づくり <周望>

重 (2) 災害ボランティアセンター設置を想定した仕組みづくり

- ・ 災害ボランティアコーディネーター養成研修の開催
(市・区社協職員含む55人) <総務課・活動推進課>
- ・ 北九州市消防局主催「防災訓練 (緊急物資集配センター運営訓練)」参加
(25人) <活動推進課>
- ・ 福岡県消防局主催「防災講演会」参加 (6人) をはじめとする、関係研修・訓練への参加機会の提供 <活動推進課>

5 福祉等専門職の地域への参加、参画の推進

(1) 地域包括支援センターと区社協の連携による専門職の参加の促進

- ・ 北九州市高齢者介護の質の向上委員会への参画（4回） <生活福祉課>
- ・ 統括支援センター、地域包括支援センターの体制強化に向けた参画
<生活福祉課>

(2) 校(地)区社協連絡調整会議等への専門職の参加の促進

- ・ 専門職による地域福祉活動の啓発及び地域の福祉力向上のための介護教室等の実施
<生活福祉課>

(3) 災害時における施設の介護等専門職の貢献

- ・ 専門的資格・技術を持った人材募集の実施 <活動推進課>

基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

派遣切りなどによる雇用不安と福祉・介護の職場での人材不足という、二つの側面からの課題解決の一方策として、ハローワークで実施された「ワンストップ・サービス・デイ」、「介護職ミニ面接会」に参画・情報提供を行うとともに、福祉人材バンクでの「福祉の職場 求人・求職面談会」の実施を通じて関係機関・施設・団体とネットワークの強化を図りました。

また、調査・研究においては、安心生活創造事業の受託をきっかけとして、小地域福祉活動におけるニーズ把握に努めました。

新たな北九州シニアネットワークアカデミーにおいては、夢追塾を始めとしたフォローアップ調査を行い、今後の運営について検討を行いました。

目標達成のための取り組み

1 福祉サービス事業者との連携・調整

(1) 専門研修の実施

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会
(メンタルヘルス研修 年1回、参加者 111人) (再掲) <振興課>

(2) 関連会議等への参加・参画や開催

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 (再掲) <地域福祉課>
- 新 ・ ハローワークでの「ワンストップ・サービス・デイ」への参画 <振興課>
(11月30日、12月18日 小倉)
- ・ ハローワークでの介護職ミニ面接会への協力 <福祉人材バンク>
(12月17日 小倉、12月18日 八幡)
- ・ 北九州市高齢者介護の質の向上委員会への参画 (再掲) <生活福祉課>
- ・ 統括支援センター・地域包括支援センターへの派遣を通しての連携
(社会福祉士8名、主任介護支援専門員3名、予防給付ケアプラン作成業務を行う介護支援専門員10名の派遣) <生活福祉課>
- ・ 関係機関を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施
(10回、355人) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 成年後見制度に関する会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

(3) 福祉人材バンク機能の充実

- ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓
(求人件数：638件 1,355人、採用者数：55人) <福祉人材バンク>

- ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供 <福祉人材バンク>
- 「福祉の職場 合同就職面談会」「福祉の職場 求人・求職面談会」の充実
(年2回開催、求人施設：69団体、求人件数：183件 624人、
求職者562人 採用者4人) <福祉人材バンク>
- ・ 市主催「UIターン事業」への参画 <福祉人材バンク>

2 地域福祉関係団体との連携・調整

- (1) 子育て支援に関する保育所等機能の地域への周知
 - ・ 出前講演活動による子育て支援に関する保育所等機能の地域への周知
(活動者交流会での情報提供 1回、54人) <地域福祉課>
- (2) 精神保健福祉分野での連携と調整
 - ・ 北九州市自殺対策連絡会議への参画(2回) <地域福祉課>
- (3) 社会福祉施設と地元校(地)区社協の連携促進
 - ・ ウェルクラブ活動による社会福祉施設と地元校(地)区社協の連携
(10地区、153人) <地域福祉課>
- (4) P T Aを含めた子育て関係機関・団体と民生委員・主任児童委員との連携
<振興課>
- (5) 市民センターとの連携
 - ・ 地域福祉活動を促進するための施設(市民センター)見学の実施
(コース研修生対象、25回、134人) <周望・穴生>
- (6) 民生委員児童委員との連携
 - ・ 市民生委員児童委員事務局の運営
(会議：延べ27回、研修会：延べ5回) <振興課>
 - ・ 区民生委員児童委員協議会との連携 <振興課>
 - ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協助成事業の実施) <振興課>
- (7) 関連会議等への参加、参画や開催
 - ・ 福祉人材バンク事業における福岡労働局、ハローワークとの連携
<振興課>
 - ・ 「全国ボランティアコーディネーター研究集会2010福岡」開催への協力
(実行委員として参画し、市内より14名を参加派遣) <活動推進課>

(8) 民間福祉活動の支援・連携

- ・ 各施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 ＜振興課＞
(関係省庁、全社協等の情報を社会福祉施設等へ提供)
(保育所連盟行事、児童養護施設協議会行事等への参加)
(大都市施設協議会への参加)
- ・ 民間社会福祉施設従事者共済事業の実施 ＜振興課＞
(196 施設、3,906 人加入)
(共済事業担当者会議：75 人・研修会：111 人)
- ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施 ＜振興課＞
(4 件、5,100 万円)
- ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋 ＜振興課＞
(4 団体からの寄贈物品を、14 施設・団体へ斡旋)
- ・ 独立行政法人福祉医療機構助成事業の審査 ＜振興課＞
(3 団体、5,209 千円)
- ・ 年長者研修大学校での老人クラブ研修の実施 ＜周望・穴生＞
(3 コース、12 回、688 人)

3 共同募金会との連携

(1) 募金活動への協力体制強化

- ・ 北九州市各区支会連絡協議会業務の遂行 ＜振興課＞
(福岡県共同募金会配分委員会・推進委員会参画)
- ・ 共同募金への理解と PR を目的とした啓発パネル展の実施 ＜振興課＞
関係機関・団体のイベント等でパネル展実施
(ふれあいフェスタ 2009 で共同募金啓発パネル展開催)

新 ・ ふれあいネットワーク事業充実強化の取り組みにおける共同募金等、小地域福祉活動財源確保の検討 (モデル校区 2 地区) ＜地域福祉課＞

(2) 歳末見舞金の地域活動への有効活用

- ・ 区社協への働きかけ ＜振興課＞
(定例の区社協事務局長・市社協課長連絡会議で協議)

4 調査・研究、提言

(1) 新しい仕組みづくりに関する研究

新 ・ 安心生活創造事業の受託 (再掲) ＜地域福祉課＞

新 ・ 校(地)区社協の実態調査 (実態調査 155 校(地)区) ＜地域福祉課＞

- ・ 年長者研修大学校の運営に関する調査研究グループの育成 ＜周望・穴生＞
地域リーダー養成コースの演習として導入等で各種調査の実施 (23 回)

- ・ にぎわいづくりのための校内売店等の研究設置
 校内売店兼喫茶コーナーの立ち上げ（同窓会の協力による） <周望>
 障害者福祉施設の太陽パンの販売（月2回～4回） <穴生>
 ボランティアグループの野菜・クッキー等の販売（年6回程度） <穴生>
- ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保
 （周望学舎利用数 703回 6,209人、穴生学舎利用数 311回 10,687人）
 他に活動拠点として市民センター、自治会等の確保 <周望>
 地域での活動拠点の確保・調整 <穴生>
- ・ 屋上緑化、グリーンカーテン、雨水や自然エネルギーを活用する省エネ・省
 資源による施設管理の研究 <周望>
 省エネ委員会を2回開催し研修生の草の根レベルの省エネの取り組みの
 実施、園芸ボランティアの活用
 事業所（食堂）生ゴミの堆肥化事業（平成19年5月～）
 雨水の活用（平成20年9月～）
 みどりのカーテン事業（1階の研修室の暑さ対策）（平成21年4月～）
- ・ リデュース・リユース思想の普及 <周望>
 30周年事業のペットボトルのオブジェの作成
 ペットボトルで作ったリサイクルオブジェのホール展示

(2) ニーズ調査

- ・ 福祉協力員によるニーズ把握の調査研究
 （見守り対象者ニーズ調査 871人） <地域福祉課>
- ・ 高齢者の学習ニーズ等の調査及び情報収集と調査研究 <周望・穴生>
 研修受講アンケート、追跡調査等（年2回実施）
- 新 ・ 夢追塾生のニーズ調査（年2回実施） <穴生>
- ・ 地域活動需給調整のための、ニーズ調査（年2回実施） <周望・穴生>

(3) 実態調査

- ・ ボランティアグループ実態調査（回答 630 団体、報告書 1,000 部）
 <活動推進課>
- 新 ・ 北九州シニアネットワークアカデミーの運営と調査・提言 <周望・穴生>
 運営・改善委員会（4回開催）の審議に諮問し提言を受ける
- 新 ・ 夢追塾の塾生の卒塾後の実態調査 <穴生>
 卒塾生の「夢の実現状況」に関する動向調査を実施（1～3期生 150人）

5 地域福祉活動計画の推進

(1) 計画の普及

- ・ 社会福祉施設、民間事業所等に対する計画の周知 ＜振興課＞
民間社会福祉事業従事者共済事業の研修会等で計画の周知（1回、111人）
- ・ 出前講演活動等各種事業を通じた第三次計画の普及 ＜地域福祉課＞
（出前講演・各種研修会等の活用52回、3,955人）

(2) 進捗状況の評価・点検と見直し

- ・ 総合企画委員会による第三次計画の点検・評価 ＜地域福祉課＞
（総合企画委員会4回、報告書の作成）

(3) 校（地）区単位の活動計画づくりの普及

- ・ 校（地）区単位の活動計画づくりの普及 ＜地域福祉課＞
（地域福祉活動専門研修 1回、78人）

基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

認知症高齢者の増加や障害のある人の家族が亡くなった後に残る不安の解消などの課題に対応するための成年後見制度が機能するよう、社協自らが法人後見に着手し、「権利擁護・市民後見センター」を開設しました。それに伴い、社会貢献型「市民後見人」養成講座修了生を担い手とした、支援員の充実・強化を図りました。

また、緊急雇用対策の観点から、福祉人材バンクにおいて「介護有資格者向け就労支援セミナー」や「介護人材サポート事業労働者受入事業所募集」を行ったことで、市民の生活を支援するための取り組みも進めました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と福祉サービス利用援助

新 (1) 権利擁護・市民後見センターの開設 <権利擁護・市民後見センター>

- ・ 権利擁護に関わる相談機能の強化（相談件数 597 件）
- ・ 専門員、支援員の資質向上のための研修会及び事例検討会の実施
 - （合同研修会の実施 1回 42人）
 - （ブロック会議の実施 4回 32人）
 - （参加研修会延べ回数 9回 15人）
- ・ 介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等との連携
- ・ 保護行政における自立支援プログラムへの協力（生活保護世帯 138 世帯）

- ##### 新 法人後見事業への取り組み（後見人等受任件数 11 件）
- ・ 福祉サービス利用援助を中心とした生活支援サービス内容の充実（生活支援サービス総回数 5,218 回）

- ##### 新 地域福祉権利擁護事業対象者の拡大（入院患者への対応）
- ・ 地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行に関する検討と支援（法人後見事業に移行した件数 5 件）

(2) 成年後見制度の利用促進 <権利擁護・市民後見センター>

- ・ 成年後見センター「みると」との連携と役割分担（成年後見センターへ繋いだ相談 24 件）

- ##### 新 成年後見人等受任に関わる家庭裁判所との連携
- ・ 弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の連携

- ##### 新 市民後見人養成研修の実施と研修修了後の活動の場の確保
- （公開講座（1 日間） 受講人数 77 人）
 - （基礎研修（6 日間） 受講人数 延べ 72 人）
 - （実務研修（10 日間） 受講人数 延べ 160 人）

(3) 他機関・団体とも連携した、子ども・高齢者・障害のある人などの生活権保障
(犯罪被害防止など) の取り組み

- ・ 出前講演活動を活用した生活権保障(地域福祉権利擁護事業など)の取り組み(23回、参加者1,065人) <地域福祉課>

新 ・ 障害のある人を地域で支える活動(再掲) <地域福祉課>

- ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応 <権利擁護・市民後見センター>

- ・ 権利擁護事業の理解促進と福祉サービス等の情報提供 全研修生3回実施
講義内容：社会福祉協議会の活動、認知症見守りサポーター事業、
地域での支え合い等 <周望・穴生>

2 相談・苦情への対応と情報提供

(1) 心配ごと相談所の運営 <振興課>

(相談総件数1,233件=解決415件、他機関648件、その他170件)

- ・ 心配ごと相談員研修の実施(1回、163人)

重 (2) 介護サービス相談事業の充実

- ・ 介護サービス相談員派遣事業の拡充及び事業周知

(27事業所拡大 合計154事業所に派遣、延べ相談員派遣回数47,770件、
延べ相談人数24,148件) <生活福祉課>

(3) 福祉関連の就業に関する相談・情報把握 <福祉人材バンク>

- ・ 求人・求職に対する相談と情報把握の充実
(求人相談 2,618件 求職相談 5,086件)

新 ・ 介護有資格者向け就労支援セミナー(1回、32人)

(介護保険制度の情報等、介護実技、施設見学)

新 ・ 緊急雇用対策：介護人材サポート事業労働者受入事業所募集

(施設数 60カ所、100人)

(4) 苦情への対応

- ・ 広報紙やホームページへの定期的な掲載による苦情解決方法の市民への周知徹底 <総務課>

- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の苦情申し立ての支援 <権利擁護・市民後見センター>

(5) 市民への情報提供

- ・ 生活福祉資金相談コーナー窓口での相談受付 <振興課>

生活福祉資金相談の実施や修学資金制度説明会の実施

(相談件数[窓口等] 2,494件 修学資金制度説明会 年2回)

新 ・ 「ワンストップ・サービス・デイ」への協力(2回)(再掲) <振興課>

- 新 ・ 生活福祉資金制度改正に伴う関係機関等との調整 ＜振興課＞
- ・ ふれあいネットワーク事業を通じた市民への情報提供 ＜地域福祉課＞
 （ふれあいネットワーク事業を活用した認知症サポーター養成講座の展開
 消費生活センターからの情報の提供）

3 社会参加・自立の支援

(1) 健康と福祉のまちづくり事業の推進

- ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング・ニュースポーツ出前体験事業の実施（再掲）（419回、14,770人） ＜穴生＞

(2) 高齢者の社会参加・自立の支援

- ・ 高齢者地域交流支援通所事業（地域交流型デイサービス）の実施
 市民センター49ヵ所での介護予防・自立支援を目的とした介護予防プログラム等の充実したサービスの提供（市民センター49ヵ所で週2回実施、実施日数4,727日、延べ利用者数55,105人） ＜生活福祉課＞
- ・ 在宅高齢者送迎サービス事業の実施（再掲）
 （ボランティア登録数921人 利用者登録数629人） ＜活動推進課＞
- ・ 腕自慢おまかせサービス事業の実施（再掲）
 （ボランティア登録数249人、実施件数113件） ＜活動推進課＞
- ・ 老人クラブ連合会との連携による研修事業の実施（12回 688人） ＜周望＞
 単位老人クラブ新任会長研修（宿泊） （4回 199人）
 全市老人クラブ女性リーダー研修（宿泊） （2回 150人）
 老人クラブ会員研修（日帰り） （6回 339人）
- ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るためのシニアカレッジの実施（40回、1,901人） ＜周望・穴生＞
- ・ 高齢者の社会参加活動支援のための場の提供
 （102グループ、21,829人、1,802回） ＜周望・穴生＞
- ・ 高齢者の特性にあわせた自主講座の実施 ＜周望・穴生＞
 シニアカレッジや高齢者を対象にしたパソコン講座、自分史講座、社交ダンス講座など幅広く自主講座を実施

- 新 ・ 研修生・夢追塾生との意見交換会・交流会の実施 ＜周望・穴生＞
意見交換の場として委員長会議の実施（各学舎3回実施）
北九州市長と4期生、卒塾生参加のもと、「塾生自身の夢の実現」や市政に関することについて積極的な意見交換（参加者 47人）

(3) 家族介護者の支援の充実

- ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の充実 ＜生活福祉課＞
 （新規サポーター43人養成、サポーターフォローアップ研修実施1回）

- (4) 障害のある人（児童）の社会参加・自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用（再掲）
（貸付件数・金額：9件、13,060千円） <振興課>
 - ・ 小規模作業所と連携した収益事業の充実
（太陽パン製造のまちづくりクッキーの販売 926箱） <振興課>
- (5) 母子・父子世帯の社会参加・自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用（再掲）
（貸付件数・金額：12件、17,198千円） <振興課>
- (6) 低所得世帯の自立の支援
- ・ 生活福祉資金貸付制度等の運用（再掲）
（貸付件数・金額：497件、209,634千円） <振興課>
- (7) ホームレスの自立の支援
- ・ 出前講演活動を活用したホームレス問題の市民の理解促進
（北九州市ホームレス自立推進協議会への参画 4回） <地域福祉課>

推進の基盤づくり

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」の視点をもって基盤づくりを行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に推進しています。

1 校(地)区社会福祉協議会

- ・ 校(地)区社協新任役員等研修の実施(1回、参加者57人) <地域福祉課>
- ・ 「ふれあいネットワーク事業」中間報告や実績報告等による活動点検の実施 <地域福祉課>

2 区社会福祉協議会

- ・ 市社協正副会長・区社協会長合同会議の開催(3回開催) <総務課>
- ・ 幹部会の開催(12回開催) <総務課>
- ・ 収益事業の取り組み <振興課>
(入れ歯リサイクル事業 約8万円、家庭用常備薬幹旋事業 594,806円)
- ・ 共同募金の募金手段等の検討 <振興課>
- ・ 各種補助金、財団等助成金の活用促進 <振興課>
- ・ 校(地)区社協活動支援のための市・区社協共同事業の実施 <地域福祉課>

3 市社会福祉協議会

- ・ 役員会の開催(理事会3回、評議員会3回、監事会1回) <総務課>
- ・ 総合企画委員会による活動点検及び方向性の検討 <地域福祉課>
- ・ プチボTシャツ・エプロン等の販売拡大及び新規啓発物品の開発 <地域福祉課>
- ・ 電話対応コンクールへの参加 <総務課>
- ・ 職員連絡会議の開催による情報の共有(6回開催) <総務課>
- ・ 研修の実施による職員の能力開発(新任研修1回、管理職研修1回、現任研修3回) <総務課>
- ・ メンタルヘルス研修会の開催(1回、36人) <総務課>
- ・ 正規職員、主任嘱託職員の採用 <総務課>
- ・ 新たな人事・給与制度の導入 <総務課>
- ・ 指定管理運営業務の運営 <施設部・周望・穴生>
(年長者研修大学校・穴生ドーム・生涯現役夢追塾・ウェルとばた)

- ・ 「ウェルとばた」を活用した収益事業の実施 ＜施設部＞
（「60歳のラブレター」午前、午後2回上映、560人）
- ・ 「ウェルとばた」におけるにぎわいの創出事業の実施 ＜施設部＞
夏まつり・ストリートダンスコンテスト 交流プラザ（1,200人）
秋まつり・スペシャルウェルカムコンサート 中ホール（300人）
ウェルカムコンサート 年10回（1,500人）
- ・ 市民会館まつり ＜施設部＞
（初夏のをどり 戸畑市民会館大ホール 800人）
（2009歌まつり 戸畑市民会館大ホール 800人）
- ・ 賛助会員制度の推進 ＜振興課＞
- ・ 自主財源確保の企画・提案 ＜振興課＞
- ・ **収益事業の拡充** ＜振興課＞
（入れ歯リサイクル事業 約8万円、家庭用常備薬幹旋事業 594,806円）
- ・ 共同募金の活性化支援（再掲） ＜振興課＞

常設委員会の実施

市社協が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っていきます。

- ・ 総合企画委員会（4回） ＜地域福祉課＞
- ・ 生活福祉資金貸付調査委員会（5回） ＜振興課＞
- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（1回） ＜振興課＞
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済制度運営委員会（1回） ＜振興課＞
- ・ 独立行政法人福祉医療機構助成金推薦審査委員会（1回） ＜振興課＞
- 新・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- 新・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会（16回） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 福祉人材バンク事業運営委員会（1回） ＜福祉人材バンク＞
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会（4回） ＜活動推進課＞
- 新・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営改善委員会（4回） ＜周望・穴生＞

専門委員会

- ・ 新たな市民参加と他分野との協働に関する専門委員会（6回） ＜活動推進課＞
- ・ 研修専門委員会（8回） ＜研修課＞